

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第 14 号

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 **はつらつとした生徒、地域に輝く学校** 令和 3年 3月 1日 (月)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: <http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/>

『校歌』

校長 小熊 誠

2月15日(月)、昼休み終了を迎えたとき、学校にどよめきが起こりました。それは、突然『校歌』が学校に響き渡ったからです。大原中のチャイムが変わった瞬間です。これからは、昨年10月23日、合唱コンクール当日、3年生が、今までの思いを全て詰め込み、歌詞の言葉一つ一つが言霊となった、魂の『校歌』が、5時間目開始の予鈴と、帰りの会終了後に流れます。本年度、コロナウイルスの影響で沢山の我慢と辛い思いをしてきた3年生、しかしそんな3年生によってまた一つ、大原中の歴史が拓かれました。休み時間や下校時にマスクごしに『校歌』を口ずさむ生徒も出てきました。3年生の、歌が、思いが、魂が、大原中に刻まれ始めています。保護者・地域の皆様、学校を訪れる機会が戻りましたら、どうぞ楽しみにして下さい。

さて皆様は、御自分の学生時代の『校歌』を歌えますか？ 私は、既に半世紀以上生きていますが、中学や高校の同窓会では伴奏の音楽が流れてくると、忘れていたはずなのに、歌えました。それは、私だけではなく、周りの仲間達も同じでした。そしてその後、昔話に花が咲きました。部活動の仲間達とは、不思議と試合の話になりました。勇気と元気、そして学校の代表としての意識と「誇り」を思い起こしたのかもしれない。それが『校歌』です。しかし残念なことに、大原中では本年度、コロナウイルスの影響で、全校で『校歌』を歌う機会が、体育祭のときのたった1回のみとなってしまいました。本来であれば、卒業式でも、全校で心を一つに合唱するのですが、それも叶いません。全員の心に大原中の『校歌』が刻まれているかどうか、いささか不安です。そこでチャイムです。そして、今一度大原中の『校歌』の意義をしっかりと噛み締めていきたいと思えます。大原中の『校歌』は、開校の年の1月に制定されました。皆様も御案内の通り、校訓「歴史を拓く」は『校歌』の歌詞の一節から、生徒達と共に考え、抜き出した言葉です。そして、その歌詞の前には、一番には「誇りかにその名をたたへん」、二番には「高らかにその名をうたはん」とあります。御案内の通り、その名とは大原中です。大原中の誇りを称え、高らかに誇示し、歴史を拓いていこうと歌い上げています。では、大原中の「誇り」とは何でしょうか？ 学力、行事、部活動、返事、挨拶、掃除？ 私は、日々の生徒達の活動、笑顔、すなわち生徒達そのものだと思っています。先輩達が築いてきた大原中の伝統を継承し、さらに進化させ、未来を切り拓いていく、メガ進化をしてきている生徒一人ひとりが、大原中の「誇り」です。その「誇り」を歌い上げている『校歌』は、私達に前を向いて前進する力を与えてくれるはずで、私達にとっての最強の応援歌であり、心の拠り所です。生徒・教職員一同これからも『校歌』を大切に、さらに自分を、学校を誇れるよう磨いて参ります。保護者・地域の皆様、御期待下さい。そして、近いうちに必ずやってくる大原中全員で『校歌』を歌える日を、その時の魂の『校歌』を楽しみにして下さい。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校